

高等学校における実践⑤(9月)

「聴き上手になろう」(ソーシャルスキルトレーニング)

○ 本時のねらい

- ・上手な聴き方を学ばせ、学校生活において話を聴くスキルを高めさせる。

○ 展開(50分)

学 習 活 動	教 師 の 働 き 掛 け	準 備 物
<p>1 本時の目標を知る。 「聴き上手になろう！」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【3つの約束】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしがらない</li> <li>・冷やかさない</li> <li>・よいところを見付ける</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞」と「聴」の違いについて、生徒に発表させる。</li> <li>・「上手な聴き方」のスキルを身に付けることで、他人との関係づくりがうまくいくことに気付かせる。</li> <li>・約束が必要な理由を説明する。</li> </ul>	<p>「聞」「聴」の紙 目標を表示した紙 約束を表示した紙</p>
<p>2 モデリングを見て、聴き方のポイントを知る。 【モデリング】</p> <p>I 関心のない様子で II ポイントを意識して</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【聴き方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の方に体を向ける</li> <li>・相手の顔を見る</li> <li>・うなづく・相づちを打つ</li> <li>・最後まで話を聴く</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任に相手役を頼んでおく。</li> <li>・モデリングは、ポイントが分かりやすいように、違いをはっきりさせて大げさに演じる。</li> <li>・モデリング後、どんなところがよかったのか、気付きを出させながら、聴き方のポイントを押さえる。</li> <li>・示したポイント以外の非言語的なポイント(表情、声のトーンなど)も生徒から出たら、それらも重要であることを付け加える。</li> <li>・ワークシートを配布し、スキルのポイントを記入させる。</li> </ul>	<p>ポイントを表示した紙 ワークシート</p>
<p>3 聴き方のポイントに気を付けながら、練習①「そうですねゲーム」を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人組を作らせ、楽しく取り組ませる。</li> <li>・『そうですねゲーム』は、練習①になることを伝えて、ポイントを意識して行わせる。</li> </ul>	<p>ワークシート</p>
<p>4 練習①を振り返り、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの中で感じた気持ちを</li> </ul>	

そうですね！



あれはイスですね。

5 聴き方のポイントに気を付けながら、練習②を行う。

できていたポイントは  
いくつかな？



6 練習②を振り返る。  
ワークシートに記入する。

7 学習のまとめをする。

交流することで、練習②への  
動機付けを図る。

- ポイントを使って聴いてもら  
うと、どのような気持ちにな  
るかを押さえる。
- 練習②で頑張りたいポイント  
に○を付けさせる。新しくポ  
イントをつくってもよいこと  
を知らせる。

ワークシート

- 4人グループを作らせ、それ  
ぞれの役割について説明する。  
「話す役」1人  
「聴く役」1人  
「観察役」2人

役割の順番を  
示したカード  
ワークシート

- 「観察役」は、ポイントを押  
さえて実施できているかを観  
察し、実施者に適切にアドバ  
イスをするよう促す。

- 役割は交代して、どの役も全  
て体験すること、1人終わる  
ごとにグループで「聴く役」  
のよかったところを伝えるこ  
とを確認する。

ワークシート

- 「ポイント」を意識させなが  
ら、ワークシートを使って自  
己評価させる。

ワークシート

- 練習しての感想を発表させる。
- 態度や表情など、4つのポイ  
ント以外でも、よかった生徒  
を全体に紹介する。

チャレンジ週  
間チェックシ  
ート

- 上手な聴き方のスキルの意義  
を押さえ、チャレンジ週間に  
向けて、生徒の意欲を高める  
声掛けをする。

○ ワークシートより

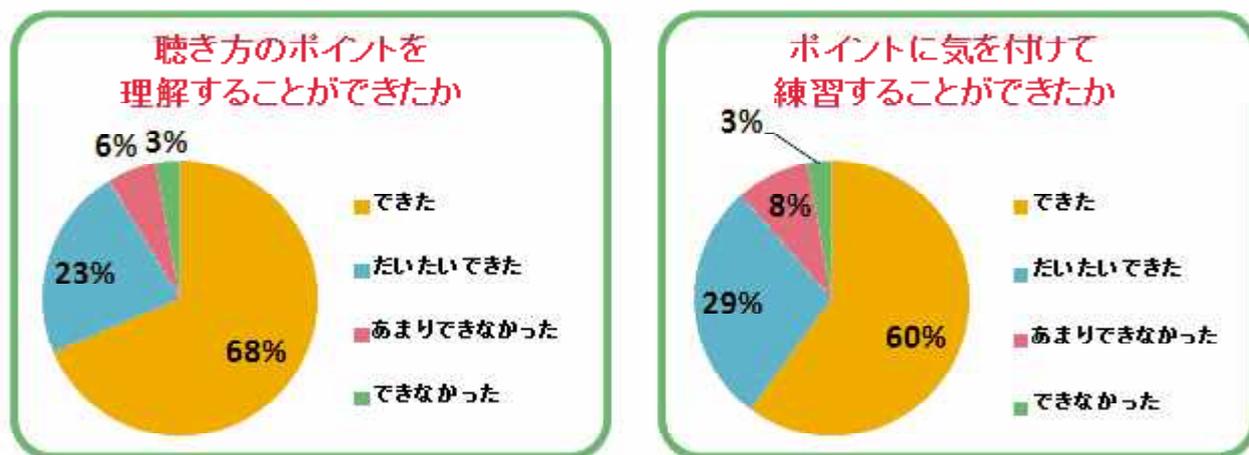


図1 ワークシート自己評価

- ・いつもは何となく友達と話しているけど、今日の授業を受けて、自分の話の聴き方を変えたいと思いました。
- ・生きていく中で大事な聴き方を今日の授業で改めて学んだと思います。耳だけではなく、目と心で聴くことが大切なんだなあと思いました。
- ・聴く人の態度でこんなにも変わるんだなあと思いました。今度からは相手の話をちゃんと聴きたいと思います。
- ・聴き上手になって社交的な人になれるように頑張りたいなあと思いました。自分の話だけをするのではなくて、相手の話をちゃんと聴こうと思いました。
- ・聴くことをあまり意識したことがなかったので、とてもいい勉強になりました。
- ・普段目を見て話したり聞いたりすることが苦手なので、していませんでした。でも、今日の授業で、（相手が）どんな気持ちなのかが分かったので、これからは相手の顔を見て聴きたいと思います。

○ 授業を振り返って

【集団について】

- ・モデリングの後、「聴き方のポイント」を生徒に発表してもらったが、一人の生徒が「相手に関心をもって聴く」と答えたことが印象的だった。ワークシートにも、練習②で重点的に頑張りたいポイントに「相手に関心をもって聴く」と記入した生徒が数名いた。
- ・ワークシートやチャレンジシートの感想を見ると、「相手の気持ちを考えて聴く」ということを意識して取り組んだ生徒が多かった。練習の進め方については課題が残る。

【個人について】

- ・Cは、同じグループの男子が上手にリードしてくれたこともあり、練習にも楽しく取り組んでいた。ワークシートの重点的に頑張りたいポイントとして、「笑顔」と書いており、実際に笑顔で友人の話を聴いていた。

【気付き】

- ・グルーピングについては、活動がスムーズにできるように配慮したつもりであったが、グループの中で一番最初に練習する生徒がやりたがらないと、そのグループの活動全体が停滞してしまった。高校生という発達段階においては、活動への動機付けは重要であると感じた。